

# 英彦山聖域復元プロジェクト広報

令和 7 年 10 月 10 日

皆さま、まず右の写真を御覧下さい。

これは、英彦山中岳山頂の南斜面の写真です。

目を覆いたくなるようなひどいゴミの散乱状態ですが、この惨状が原生林の中に 200 メートル四方にわたって広がっています。おそらく昭和 40 年から 50 年代に、マナー



ー意識の低いハイカーや、当時山頂にあった売店が投棄したゴミであろうと考えられます。ジュースやビールの空き缶、砕けたビン類、弁当のプラスチック容器などが地表を覆い、所によっては層をなしています。

かつてこの地は、<sup>しどけつかい</sup>霊山英彦山の四土結界の中でも最も神聖な場所で、「<sup>じようじやつこうど</sup>常寂光土」と呼ばれた永遠絶対の聖域でした。<sup>つば</sup>唾を吐くことすら禁じられていたと言われます。

**霊峰英彦山の山頂に、このようなゴミが放置されていいはずがありません！**

実は令和 6 年に、英彦山を会場として全国高校総体（インターハイ）の登山大会が開かれ、そのルート選定の際に、この惨状が偶然発見されました。県内の高校山岳部顧問や添田町職員の有志などで清掃活動を始め、土嚢の袋で 50 袋ほど回収しました。しかし、1,200 メートルまで登った後のゴミ収集、荷下ろし運搬など想像を絶する重労働であり、この程度では、まさに焼け石に水を感じが致しました。

これは一人や二人の力で復元できるものではありません。そこで、広く山を愛する方々にお知らせして、お手伝い頂くしかないと思い、皆様に呼びかけを思い立った次第です。

何とぞ、お時間と体力の許す範囲内で結構ですので、ご助力のほどよろしくお願い申し上げます。

文責：プロジェクト代表 佐々木英治

## 活動及び事務局の案内

名 称 英彦山聖域復元プロジェクト（活動内容 英彦山山頂の清掃活動）

設立日時 令和 7 年 10 月 10 日

活動拠点 英彦山直心庵<sup>じきしんあん</sup> 福岡県田川郡添田町大字英彦山別所

直心庵は、この地に生まれ育った伊藤泰房氏が、実家を山荘として改造したもの。  
現在山好きの人たちに開放。宿泊も可能。清掃に関する費用の負担は、直心庵主の  
伊藤氏が全面協力を申し出てくれています。

実務組織 代表者 佐々木英治 連絡先 090-1192-7041

### プロフィール

昭和 33（1958）年 福岡市生まれ（母の実家は英彦山）。

昭和 57 年 國學院大学文学部卒業。 昭和 60 年 同、大学院修士課程修了。

昭和 60 年 福岡県立高校の国語科教員となり、修猷館高校で 27 年間、筑紫丘高校  
で 7 年間教鞭を執る。

また両校の山岳部顧問として 34 年間、山岳部員の指導に当たる。

平成 31 年 定年退職。現在、一般市民対象の「大人の国語道場」を主宰し、講演や  
執筆活動を展開中。

令和 6 年 英彦山を舞台に開催された、北部九州インターハイ、第 68 回全国高等学  
校登山大会に役員として参画。中岳山頂のゴミの惨状を知る。

令和 7 年 英彦山聖域復元プロジェクトを立ち上げる。

現地支援 直心庵主 伊藤泰房（佐々木英治の叔父） 連絡先 090-2585-3600

実行準備 登山用服装、登山靴、雨具、防寒具、昼食、水筒、リュックサック  
（背負子、ゴミ袋、軍手、トラバサミ、ロープは事務局で準備します。）

### 年内の活動予定

※ 上宮の改修工事竣工に伴い、11 月から立入禁止区域が開放される予定ですので、それに合  
わせて活動を開始します。また木の鳥居から上の参道工事で再度立入禁止になった場合は、  
活動を中断します。

第 1 回 11 月 8 日(土) 第 2 回 11 月 22 日(土) 第 3 回 12 月 20 日(土)

第 4 回 12 月 27 日(土) (いずれも雨天中止)

### 日程

9：00 別所駐車場集合 登山開始 途中休憩 3 回

11：30 中岳山頂到着 昼食（各自用意）

12：00 ゴミ回収作業開始（拾いすぎると重くて持てないので注意！）

13：00 下山開始

15：00 別所駐車場 分別したゴミは添田町が回収します。解散。